

器具器械 70 歯科用鋳造器
一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (35762000)
プログラマツト P710

【形状・構造及び原理等】

本品は、①ファーンレスヘッド、②ファーンレススペース(冷却トレイ、焼成テーブル、温度校正キットを含む)、③タッチパネルディスプレイ、④コントロールユニット⑤バキュームポンプで構成される。

【装置概観図】**【電気定格】**

電源電圧 : AC200～240V
 周波数 : 50/60Hz
 過電圧カテゴリー II
 許容電圧変動 : ±10%
 最大電力消費 : 8.5A
 最終真空値 : 50mbar未満
 保護の形式 : クラス I
 保護の程度 : BF型
 動作モード : 間欠運転(運転)機器
 ヒューズ : 250V/T8A(熱回路)/T3.15A(バキュームポンプ)

【本体寸法及び重量】

ヘッドを閉じた時のサイズ:幅395×奥行495×高さ320 mm
 マップルの使用可能範囲:直径90mm、高さ80mm
 重量: 18.7kg

【使用目的又は効果】

ポーセレンを焼成するために歯科技工で使われる炉

【使用方法等】**【使用環境】**

温度: 5～40℃
 湿度: 31℃で80%以下(動作時)、40℃で50%以下(静止時)
 高度: 標高2,000m以下

【操作方法】**1. 取り付け及び動作前準備**

本体の詳細な設置と始動方法については本品付属の取扱説明書を参照すること。

- (1)開梱して中身をチェックする。
- (2)平らな場所に本品を設置する。
- (3)本品を以下の手順で組み立てる。
 - ①冷却トレイをファーンレススペースに取り付ける。
 - ②次にファーンレスヘッドをファーンレススペースに取り付ける。
 - ③電源コードを本品の電源ソケットに接続する。
- (4)電源コードを電源に接続する。
- (5)本品の背面のON/OFFスイッチを“I”の位置にすると、約1秒後にセルフテストが自動的に開始する。
セルフテストが終了したら最後に設定したスタンバイ温度まで上昇する。もし何らかの不具合があればエラー番号がディスプレイに表示される。

2. メニューの動作と通常の設定方法

- (1)本品はディスプレイ上に設定項目が表示される。設定項目は左右矢印ボタンを使って選択する。希望の数値を入力して設定値の変更を行う。+/-ボタンで数値を増減できる。
- (2)選択したプログラムや焼成パラメータで入力した数値が実行不可能な場合はカーソルに入った数値が点滅し、エラーメッセージがディスプレイ上に表示される。
- (3)プログラムがスタートした後、関連する設定項目および焼成曲線が画面上に表示される。
- (4)メニュー、キーの機能や焼成曲線ディスプレイの詳細については取扱説明書を参照すること。

3. 使用方法およびプログラムの説明**(1)電源のON/OFF**

本品の背面にあるON/OFFスイッチを“I”側に入れると約1秒後にセルフテストが自動的に開始する。セルフテストが終了するとディスプレイにメインメニューが表示される。
電源を切るにはON/OFFスイッチを“O”側に入れる。

(2)標準プログラムでの焼成

- ①タッチパネルディスプレイに表示される指示に従いプログラムを選択する。
- ②キー操作でファーンレスヘッドを開く。
- ③信号音が鳴ったらSTARTキーを押す。プログラムは自動的に進行する。
- ④プログラムが終了すると信号音が鳴る。
- ⑤キー操作でファーンレスヘッドを閉じる。

(3)フリープログラムでの焼成

全てのプログラムに個別の値を設定できる。
焼成については取扱説明書を参照すること。

【使用方法に関連する使用上の注意】

1. 本品を運ぶ時は冷却トレイを持たないで、本体底部を持つこと。
2. ヒーターや熱源の近くに設置しないこと。
3. 直射日光が当たらない場所に設置すること。
4. 通気を良くするために本品と壁の間に十分なスペースを確保すること。
5. 本品を爆発の危険がある場所に置いたり、そこで使用しないこと。
6. 本品はファーンレスヘッドが開く時に放熱するので、近付き過ぎないように注意すること。
7. 本品は耐火性のテーブルの上に設置すること。
8. 本品には専用のバキュームポンプを使用すること。他のバキュームポンプを使用する時は最大消費電力を超過しないように気を付けること。
9. 電源プラグは必ずアースを引いたソケットに接続すること。電源コードが高温のファーンレスヘッドに触れないように注意すること。
10. 電源は必ず十分な容量のある単独回路をとり、タコ足配線や細い延長コードを絶対に使用しないこと。ショートや過熱から、火災の原因となり危険である。本品にはEVCS(Electric Vacuum Control System)が備わっており、バキュームポンプが最初に正しく立ち上がらなければ、プログラムが停止する。
11. 焼成中はファーンレスヘッドを常に閉じた状態にすること。
12. 予備乾燥する材料は信号音が鳴った後に焼成テーブルに置くこと。
13. 停電(約10秒)が起こるとプログラムが中断し、エラーが表示される。
STOPキーを押し、プログラムを再スタートできる。
14. ATK2で定期的に炉内の温度校正を行うこと。
15. 本品が動作中は無理に手でファーンレスヘッドを開けないこと。
無理に開けるとエラーが表示される。
16. プログラム動作中に設定値を変更すると、プログラムが停止します。
17. ファーンレスヘッドを閉じたまま電源をONにして、炉内の実際温度が600℃より高い場合、自己診断中にファーンレスヘッドが完全に開き、再度閉まる。
18. プログラムがスタートして終了するまで、およその残り時間がディスプレイに表示される。この残り時間は常時更新される。

【使用上の注意】

[使用注意]

- 1.本品は、本書に記載の用途以外には使用しないこと。
- 2.本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

[重要な基本的注意]

- 1.詳細については、取扱説明書を使用前に必ず読むこと。
また、医療電子機器の使用上(安全及び危険防止)の注意事項
昭和47年6月1日薬発第495号厚生省薬務局長通知を必ず読むこと。
- 2.ラベルに指示されている電源(200~240V、50/60Hz)を使用すること。
- 3.必ず表示されている規格のヒューズ、電流を使用すること。
- 4.極低温や高湿度の環境に置かれた本品は約1時間、室温に慣らしてから電源を接続すること。
- 5.電気ショックの原因となるので、液体や異物を本品内や換気口に入れないこと。
- 6.感電、その他の危険のため、カバー、底板等を開け、本体内部に触れないこと。
- 7.火傷の危険性があるので、熱くなったファーンレスヘッドの表面に触らないこと。
- 8.ファーンレスヘッドの上に物を置かないこと。ファーンレスヘッドの開閉を阻害しないこと。
- 9.本品が動作中にファーンレスヘッドの下に手を入れないこと。破損および火傷の危険がある。
- 10.焼成テーブルは焼成炉に正しく設置すること。
- 11.焼成テーブルを使用せずに焼成を開始しないこと。
- 12.ファーンレスヘッドのケーブルを持って移動させないこと。
ケーブルや接続部分が破損する危険がある。
- 13.ファーンレスヘッドには電子ドライブが装着されており、キー操作により動作する。絶対にファーンレスヘッドを手動で開閉しないこと。
- 14.焼成トレイを断熱材(ベース)の上に置かないこと。ファーンレスヘッドが閉まる時に障害となり、破損の原因となる。焼成トレイは必ず焼成テーブルの中央部に、焼成後は専用の冷却トレイの上に置くこと。
- 15.本品が動作中、高温になる部分に触れないこと。火傷の危険がある。
- 16.電子部品に触らないように注意すること。静電気によって部品が損傷する危険がある。
- 17.器械の安全性が確保できない場合は、事故を未然に防ぐために、電源を切ること。例えば、下記のようなケースが該当する。
 - 本品が破損している。
 - 本品が動作しない。
 - 保管状態の悪いまま本品が長時間放置されていた。
 - 本品が過熱する。
- 18.本品の近くで液体を使用しないこと。誤って液体が本品内に入った時は電源プラグを抜いて、修理を依頼すること。本品は動作させないこと。
- 19.バキュームポンプは通気の良い場所に設置すること。ファーンレスベースの換気口は常に障害物で塞がれないように注意すること。
- 20.有害ガスが発生する物を燃やさないこと。
- 21.本品は室内でのみ使用すること。

[相互作用]

本品の傍で、携帯電話等、電磁波を発生する機器の使用は装置に障害を及ぼす恐れがあるので、使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管環境条件]

温度:-20~65℃

湿度:80%以下

気圧:500~1060mbar

[貯蔵・保管方法]

- 1.水がかからない場所に保管すること。
- 2.気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響が生ずる恐れがない場所に保管すること。
- 3.傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)等に対する安全状態に注意すること。
- 4.化学薬品の保管場所やガスが発生する場所に保管しないこと。
- 5.本品は幼児、子供が手の届かない場所に保管し、歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

- 1.機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
- 2.暫く使用しなかった機器を再使用する時には、使用前に必ず装置が正常、かつ安全に動作することを確認すること。
- 3.本品の清掃は乾いた清潔な布か、少し湿った布で行うこと。洗剤は使用しないこと。必ず電源プラグを抜いてから清掃を行うこと。
- 4.調整、メンテナンス、修理、パーツの交換は電源プラグをコンセントから抜いた後に行うこと。
- 5.電源が接続され、ファーンレスヘッドが開いた状態で調整、メンテナンス、修理を行う必要がある時は、注意事項や取扱方法を熟知した専門家が必ずこれらの作業を行うこと。
- 6.メンテナンス後、必要な安全確認テストを行うこと。
- 7.純正パーツのみを使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent 株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent GmbH (オーストリア)